

初めてのFinger Board Pro

研修資料



1. はじめに

Finger Board は、学習用教材作成のために開発されたアプリで、機能別に3種類が配信されています。そのうち機能をフルに使える「Finger Board Pro」での教材作り機能のいくつかを紹介したいと思います。

下記のリンクに、画像、動画を用いた詳しいチュートリアルがあります。

<http://fingerboard-app.com/>

2. 操作説明

① こちらのアイコンをタップして起動します。すると舌のような画面が出ます。

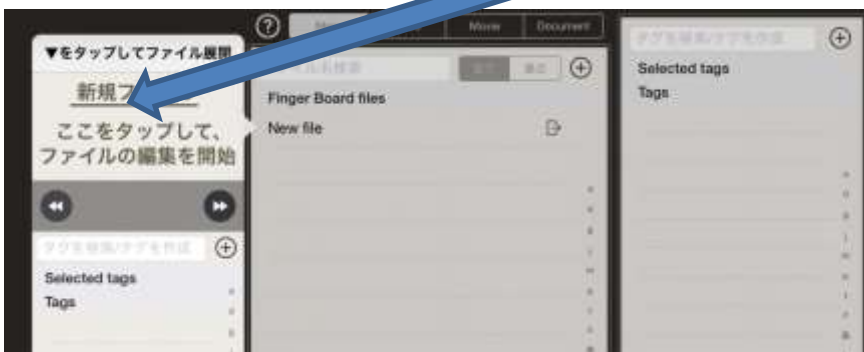


ファイル一覧ボタン

② 新しくファイルを作る



- ファイルを作成ボタンを押す
- 新規作成
- 新規ファイルをタップ



※ファイルの名前を変える
ファイル名を長押しすると、名前を変えることができる

3. 基礎1（絵をタップすると、消えたり現れたりするアプリ）

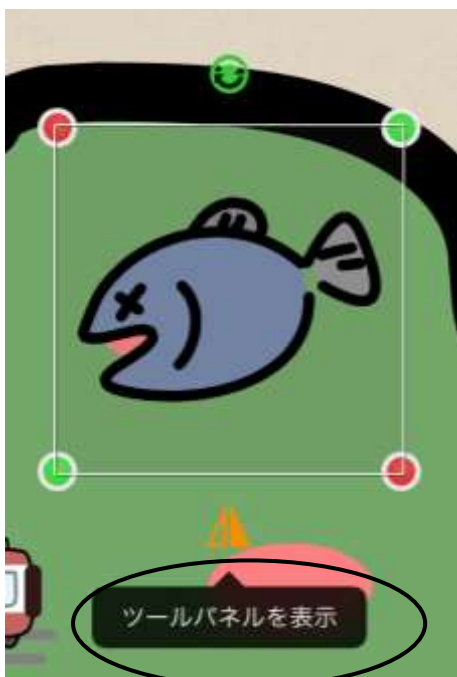
① ページ上に図を配置する



- オブジェクト追加ボタンを押す
- 「アプリ内画像」をタップ
- 好きな画像を選ぶ
- 画像をタップしたまま指を滑らせてページの上に配置する
- 学習ボタンを押して確認



② タッチ機能（表示/非表示）を追加する

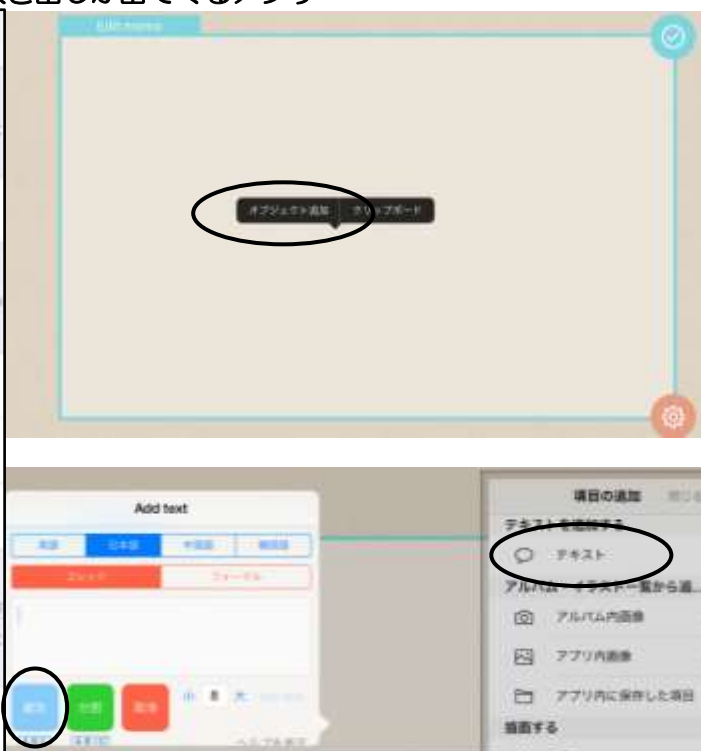


- タッチ機能を付けたい画像をタップ
- 「ツールパネルを表示」をタップ
- 「タッチ機能を追加する」をタップ
- 「表示/非表示の切り替え」をタップして赤くする
- 学習ボタンを押して確認

4. 基礎2（画像や写真をタップすると、字が出てきたり、音が流れるアプリ）

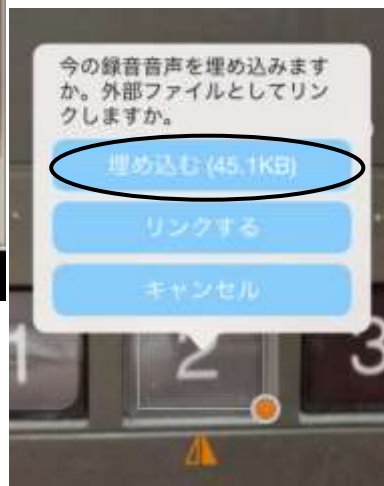


① 画像をタップすると吹き出しが出てくるアプリ



- タッチ機能を付けたい画像をタップ
- 「ツールパネルを表示」
- 「タッチ機能を追加する」
- 「文字・画像をポップアップ表示」
- 新規作成
- 空色の画面上をタップ
- 「オブジェクト追加」
- 「テキスト」
- 表示したいテキストを打ち込む
- 「確定」
- 右上の「✓」ボタンをタップ
- 学習ボタンを押して確認

② 写真をタップすると音が流れるアプリ



●写真を配置する

- オブジェクト追加ボタンを押す
- 「アルバム内画像」
- アルバムから写真を選ぶ

●透明なボタンをつくる

- オブジェクト追加ボタンを押す
- その他の項目
- 一番上の透明ボタンをドラッグする

●透明ボタンに音を入れる

- 透明ボタンをタップ
- 「ツールパネルを表示」
- 「タッチ機能を追加する」
- 「音声を再生」
- 「録音を開始」
- 「埋め込む」

5. 基礎3（選択問題アプリ）



- 正解マーク（間違いマーク）を付けた
い画像をタップ
- 「ツールパネルを表示」
- 「タッチ機能を追加する」
- 「正解マーク（間違いマーク）を表示」

6. 応用1 (正誤判定を使った選択問題アプリ)



●枠を挿入する

- ・オブジェクト追加ボタンを押す
- ・「その他の項目」
- ・真ん中の枠をドラック

●正解となるテキストをつくる

- ・オブジェクト追加ボタンを押す
- ・「テキスト」
- ・表示したいテキストを打ち込む
- ・「確定」



●テキストを複製ドラッグできるようにする

- ・編集したいテキストをタップ
- ・「ツールパネルを表示」
- ・「高度な設定」
- ・「複製ドラッグON」



- 枠に正誤判定を付ける
 - ・ 枠をタップ
 - ・ 「ツールパネルを表示」
 - ・ 「タッチ機能を追加する」
 - ・ 「正誤判定」をタップし、赤くする
 - ・ 「正誤判定」の横のⓘをタップ
 - ・ 正解となるテキストを打ち込む
 - ・ 学習ボタンで確認

7. 応用2 (作文アプリ)



- 枠をつくる (応用1 参照)

- テキストをつくる (応用1 参照)

※ テキストを一度にたくさん作る

「はしる はなす たべる」のようにスペースを空けながらテキストを打ち、最後に緑色の分割ボタンを押す

- テキストに枠を付けたり、大きさや色などを変更したりする

- ・ 編集したいテキストをタップ
- ・ 「ツールパネルを表示」
- ・ 「外観を変更する」

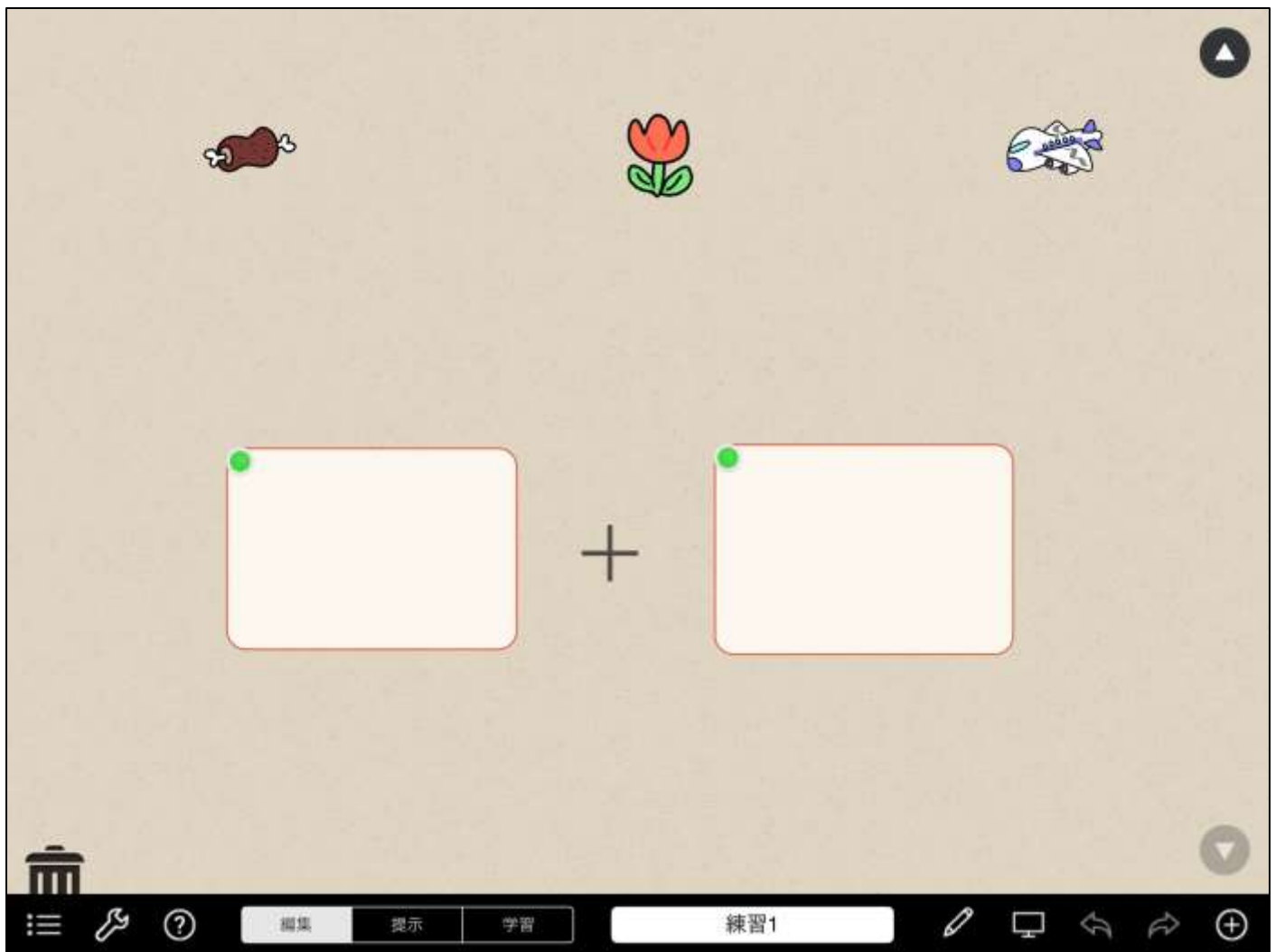
※ 画像等を複数選択する

画像や枠を続けてタップすると複数選択できる。関係ないところをタップすると解除する。

- テキストを複製ドラッグできるようにする (応用1 参照)



8. 応用③（たし算アプリ）



- 枠をつくる（応用1 参照）
- テキストに枠を付けたり、大きさや色などを変更したりする
 - ・ 編集したいテキストをタップ
 - ・ 「ツールパネルを表示」
 - ・ 「外観を変更する」
- 画像を挿入
- 画像を複製ドラッグできるようにする（応用1 参照）

9. おわりに

iPad に関するたくさんの学習に使えるアプリが配信されるようになりましたが、児童生徒の実態により合わせるためには、教材を自作することでより効果が上がる場合があるかと思います。